



〈みんなで支えよう！佐久のお産ネットワーク〉

みんなで考えようー佐久のお産ー

- ◎ 佐久地域には、分娩ができる医療機関が5か所あります。平成20年度（平成20年4月1日～平成21年3月31日）の分娩件数は、1,863件でした。
平成20年度に働いていた産科医は、わずか10名ですので、年間1人あたり約187人もの分娩を行ったこととなります。
- ◎ 分娩の中には正常分娩もありますが、最近は異常分娩による帝王切開も多くなっており、分娩時間が長くなるなど1人の産科医にかかる負担は増える傾向にあります。

産科のお医者さんは寝る間も惜しんで新しい生命の誕生にかかわっています。

今働いている産科医が1人でも少なくなったら、佐久のお産はどうなるのでしょうか？

- ◎ 現在、産科医はほとんど休みもとれない状況ですので、1人でも産科医が少なくなれば、ますます1人あたりの産科医の負担は増えてしまいます。

場合によっては、産科の医療体制を維持できなくなる事態も予想されます。

産科医の数は増やせないのですか？

- ◎ 全国的に医師不足が大きな問題となっており、特に産科の病院勤務医師が急速に減ってきています。

当面は、産科医が大幅に増える状況ではありません。

今の産科の医療体制を維持するため、私たちにできることは……？

◎ 佐久地域に住んでいる私たち全員が、産科医の負担を減らすため何ができるか考えることが必要です。具体的には、

★妊娠の徴候があったら、早めに医師の診察を受ける。

★妊娠したら市町村の窓口で母子健康手帳の交付を受ける。

★妊娠中を健康で過ごすため、タバコ、お酒を控える。

★食事のバランスに注意し、体重の変化も確認する。

★歯科健診を受け、早期に虫歯の治療に心がける。

★十分な睡眠と休養をとる。

★妊娠中の異常（おなかの張り、出血、インフルエンザ症状など）に気づいたら、早めにかかりつけ医に相談する。

★地域で実施している産前学級に積極的に参加し、仲間づくりや適切な情報を得る。など、身近なところからできることがあります。

そうすることで、妊娠・出産を通じて問題が発生する危険が少なくなり、産科医の負担も少なくなります。



「みんなで支えよう！佐久のお産」ネットワークでは、産科施設（医療機関、助産所）、医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会などの関係機関が役割を分担して、地域全体で産科医療を支える取組を進めています。

◎ 佐久地域のお産に関する情報は、
佐久保健福祉事務所ホームページ <http://www.pref.nagano.jp/xeisei/sakuho/index.htm>
の「[佐久のお産情報](#)」からご覧になれます。

◎ 「みんなで支えよう！佐久のお産」ネットワーク事務局
佐久保健福祉事務所総務課 〒385-8533 佐久市跡部65-1（佐久合同庁舎1階）
TEL 0267-63-3162 FAX 0267-63-3221
E-mail :sakuho-somu@pref.nagano.jp

この広報は 長野県地域包括医療協議会支部小諸北佐久地区協議会・長野県地域包括医療協議会支部佐久地区協議会のご協力により作製いたしました。